

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労支援センターワーク・キューブ
住 所	芦屋市公光町3-4
電話番号	0797-21-5577

事業所番号	2811000427
管理者名	鍋島奈穂子
対象年度	令和3年度

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		5
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方（※）		点
◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		35
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
小計（注1）		9
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(IV) 支援力向上（※）		点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		35
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	○	
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
◎ ⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
◎ ⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	○	
◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	○	
小計（注2）		8

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								合計
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

合計	
125	点 / 200点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

前年度（3年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	21,418	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,208	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（1月～12月）

前々年度（令和2年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,404,247	円	利用者に支払った賃金総額	16,881,162	円	収支	▲ 10,476,915	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	9,288,245	円	利用者に支払った賃金総額	18,895,532	円	収支	▲ 9,607,287	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

(III) 多様な働き方

前年度（年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度を活用した人数	0名
※ 取得を進めた免許等：	
制度の活用内容：	

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数	1名
◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
※ 登用した日	R4年 2月 1日
勤務形態：	パート
就業時間：	10時00～16時00分
職務内容：	カフェサービス

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数	3名
※ 実施した期間：	R3年 4月 1日～R4年 3月 31日
就業時間（在宅勤務）：	10時30分～16時00分
職務内容：	PC入力・HP作成・イラスト作成・文書作成/縫製

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数	●名
※ 実施した期間：	●月●日～●月●日
就業時間（コアタイム）：	●時●分～●時●分
職務内容：	○○○

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数	20名
※ 実施した期間：	R3年 4月 1日～R4年 3月 31日
就業時間（短時間）：	10時30～14時00分
職務内容：	会計入力・PC入力・軽作業・検索入力・イラスト・文書作成・軽作業他

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数	20名
※ 実施した期間：	R3年 4月 1日～R4年 3月 31日
就業時間（早出の場合）：	9時30分～15時00分
就業時間（遅出の場合）：	10時30分～16時00分
職務内容：	会計入力・PC入力・カフェ業務・軽作業・イラスト作成・文章作成

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数	●名
◎ 計画的付与制度を活用した人数	●名
※ 取得した制度	<input type="checkbox"/> 有給休暇の時間単位取得
	<input type="checkbox"/> 計画的付与制度
取得した期間：	●月●日～●月●日
取得日数・時間	●日 ●時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数	●名
※ 取得した内容：	○○○
取得した期間：	●月●日～●月●日
就業時間：	●時●分～●時●分
職務内容：	○○○

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（令和2年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎ 研修実施回数	外部 3回 / 内部 0回
対象職員数	8人
うち研修受講者数	6人
※ 研修名	傾聴トレーニング研修
研修講師	太田千代子（産業カウンセラー協会）
実施日・受講者数	3月 15日 6人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	●回
※ 研修、学会等名	○○○
実施日	●月●日
※ 学会誌等名	○○○
掲載日	●月●日
発表テーマ	○○○

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※ 先進的事業者名	帝人ソレイユ 視察
実施日/ 令和3年	4月 23日 1人
※ 他の事業所名	兵庫県立芦屋特別支援学校 実習受入
実施日/ 参加者数	令和3年11月10日～令和4年1月2日 3人
	神戸市立青陽灘高等支援学校 9月13日～/1人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数	5回
※ 商談会等名	コープこうべつながるマルシェ
主催者名	コープこうべ
日時	令和3年 2月 3日
内容	SDGSを意識したオリジナル商品について
販路拡大のためのプレゼンテーションと商談会への参加。	

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎ 当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	H30年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	7名
うち昇給・昇格を行った者	2名
当該人事評価制度の周知方法	文書・口頭にて

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※ 配置期間	●月●日～●月●日
就業時間	
職務内容	○○○

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※ 評価を受けた日	●月●日
第三者評価機関	○○○

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※ 認証を受けた日	●月●日
規格等の内容	○○○

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労支援センターワーク・キューブ	事業所番号	2811000427
住 所	芦屋市公光町3-4	管理者名	鍋島 奈穂子
電話番号	0797-21-5577	対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所：芦屋大学福山記念館5F就労支援スペースあしかふえ

実施日程：令和3年11月10日～令和4年1月26日

実施した施設外就労の概要：

芦屋大学内でのカフェ運営請負業務

利用者数：3～8人/日

<目的>

地域の方々が集えるスペースの提供及び、インクルーシブ教育の場として、学生や地域の方々と障がい者が交流できる機会を作り、共生社会を体感し学べる空間とすることを目的としてカフェ運営を行っています。日常生活の中で共生社会を感じながら情操を育む機会にもなります。

<成果>

①2017年より兵庫県立芦屋特別支援学校の「職業」という授業の地域サービス班の生徒に実習の場を提供。

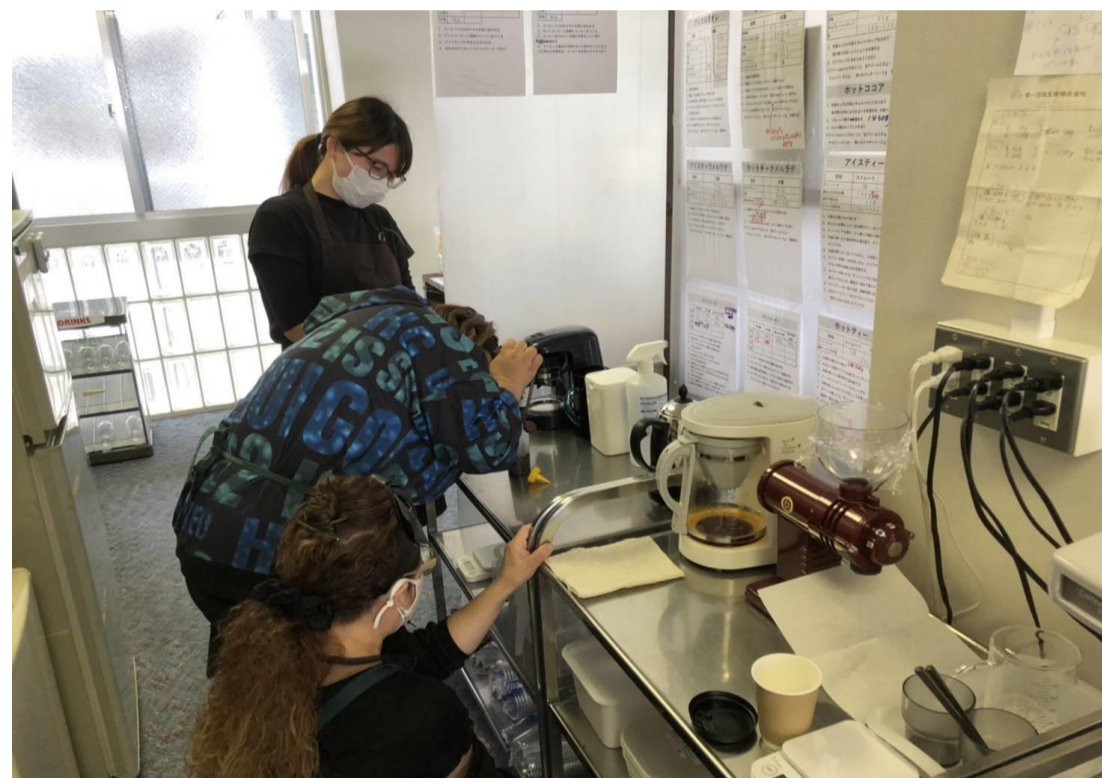
②学内イベントの実施により、地域の方々と触れ合う機会ができた。（留学生交流、オープンキャンパス、会議や茶話会等）

令和3年度は新型コロナウイルスの影響あら実施日数は半減した

③利用者で連携して業務に取り組めるようになった。

今後は、新型コロナウイルス流行下においても利用して頂ける様なシステムを作りカフェ利用者数を増やすことが課題。

<活動の様子>



開店準備の様子



連携先の企業等の意見または評価

障がい者就労支援スペース「あしかふえ」は芦屋大学「ヒデュンプロジェクト」という取り組みでプランツ・キューブさんに2017年1月からカフェを運営していただいています。その取り組みは、プランツ・キューブ、芦屋市、芦屋大学との産官学連携の取り組みです。これは「潜在的な体験学習」を学ぶ企画のことで、主に障がい者の就労支援と学生の学びを目的としています。学生が大学生活を送る中で、カリキュラム（授業）や学園祭などの行事、クラブやサークル活動から得られる「学び」だけでなく、何気ない日常的な大学生活の中から、共生社会を感じ、学ぶ雰囲気を作り、情操を育む教育を目的として行っています。大学のキャンパスで、障がい者が働き、障がい者と学生が交流できる機会を創る中で、ヒデュンプロジェクトの一環である共生社会を体感できることを目的としたカフェ運営を行っていただいています。共生社会を体感できることを目的としたカフェ運営は障がい者の就労支援だけでなく共生社会づくりを進めていく一つの方策になっています。例えば、障がい者の方の自己表現が上手くなったり、学生の障がい者の方への接触の仕方がごく自然になったりこの取り組みの成果が表れています。今後は学生もカフェ経営や運営に参画し、障がい者の方々と協力してカフェを手作りで進化させ、障がい者の方々の就労支援に繋げていきたいと考えています。

連携先企業名	学校法人芦屋学園 芦屋大学	担当者名	中村 光男
--------	---------------	------	-------